

TEENS SQUARE

ティーンズスクエア

こどもシンポジウム「TEENS SQUARE (ティーンズスクエア)」は、他都市の子どもたちとの交流を通して、「子どもにやさしいまち」を子どもたちが自分で考え、発信していく機会とするため、今年東京都が初めて開催したシンポジウムです。

令和6年10月12日(土)～13日(日)の2日間、東京都、千葉県、東京都、宮城県、富谷市、そして札幌市の子ども、合計36人が参加した「こどもシンポジウム TEENS SQUARE (ティーンズスクエア)」が開催されました！札幌市からは、「さっぽろティーンズ委員会」のメンバーである中高生6人が代表として参加し、他都市の子どもたちと交流し、「子どもにやさしいまち」の意見を発表しました。



子ども通信

この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

令和6年(2024年)12月発行



【1日目】

歓迎会、ユニセフハウス見学、都知事表敬訪問

10月12日(土)の早朝に札幌を出発し、最初の会場となるユニセフハウス(東京都品川区)に到着したさっぽろメンバー。緊張の面持ちで会場に入ります。会場では、東京都のメンバーが歓迎会を開いてくれ、各都市混合でランチを食べながら自己紹介したり、ゲームをしたりして親交を深めました。歓迎会の後は、「世界の子どもと出会える」展示施設ユニセフハウスを見学。国連で制定する、子どもの権利条約や紛争地域など世界の子どもたちの状況について学びました。

その後東京都庁を訪れ、小池百合子東京都知事を表敬訪問。各都市の代表が翌日のシンポジウムに向けた意気込みを発表し、都知事からは激励のお言葉をいただきました。

この日は全員で国立オリンピック記念青少年総合センターに宿泊。夕飯にカレー作りを行い、さらに交流を深めました。

明日は各都市の意見発表を行います。



【2日目】

こどもシンポジウム TEENS SQUARE (ティーンズスクエア) 各都市の発表、都市混合の意見交換

「TEENS SQUARE (ティーンズスクエア)」午前の部では、私が考える「子どもにやさしいまち」をテーマに、それぞれが考える子どもにやさしいまちの意見や取組、提案などを発表します。

札幌からは、市内の子どもたちから募集した意見も取り入れ、全回の話し合いでまとめた、子どもにやさしいまちに重要な視点とその環境づくりのためのアイデアなどを発表。他都市からも、地域の特徴を生かした取組や提案などが発表され、どの都市も子どもたちの考えや思いが伝わる内容で、素晴らしい意見発表となりました。

午後は、都市混合のグループワークを実施。学年の近い6グループに分かれ、意見交換を行いました。短時間だったものの、活発な話し合いが行われ、グループごとにまとめた意見も発表。さらに振り返りも行い、「新しい考え方を吸収できるいい機会になった」、「他都市の意見を聞けて参考になった」、「この経験を周りの子どもたちにも伝えていきたい」といった感想が聞かれました。2日間にわたったシンポジウムもこれですべて終了。最後にはスライドが上映され、幕を閉じました。

さっぽろティーンズ委員会が発表した「子どもにやさしいまち」は、シンポジウムを踏まえ、改めて考えをまとめた子どもたちの意見として札幌市に伝えます。



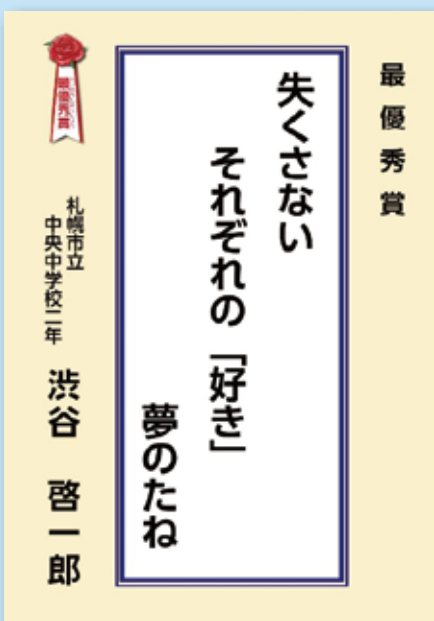
子どもの権利の日事業

子どもの権利せんりゅう・ポスター入賞作品

せんりゅう作品

ポスター作品

子どもの権利条例では、毎年11月20日を「さっぽろ子どもの権利の日」とし、子どもが参加する事業の実施や子どもの権利の普及啓発に取り組んでいます。その取組の環として、毎年市内の子どもたちから「子どもの権利」をテーマとしたせんりゅうとポスター作品を募集しています。今年度も、小学生から高校生まで、せんりゅう・ポスター作品合わせて550作品のたくさんの応募があり、合計42作品が入賞作品に選ばれました。その中から、最優秀賞と優秀作品をご紹介します。奨励作品は札幌市公式ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



札幌市子ども未来局子どもの権利推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目

大通バスセンタービル1号館7階

☎ 011(211)2942 FAX 011(211)2971

メール kodomo.kenri@city.sapporo.jp

子どもにとって大切な権利

●安心して生きる

●豊かに育つ

●自分らしく生きる

●参加する



さっぽろ市
02-G01-24-2382
R6-2-1554